

現代経営学演習

松嶋 登
2021.09.01 更新

1. テーマと目標

経営組織を中核概念にした経営学の考え方を学び、企業の利益追求にむけた経営課題への対応を超えて、人々がより良く生きる社会を実現する手段でもある企業のあり方を大局的に捉えた修士論文の作成を行います。

今日のコロナ禍は、我々の社会生活に大きな影響を与えてきました。他方で、コロナ対応に苦戦する日本社会を通じて、気づきも得られました。それは、世界でも独自の経営哲学を持っていたはずの日本企業がすっかり新自由主義的なグローバル化の中で平準化し、その柔軟性を失っている現状です（上林憲雄・平野光俊編『日本の人事システム：その伝統と革新』同文館出版、2019年）。他方で、世界を見渡せば、コロナ以前から新たな経済・社会システムを求めた動きが始まっていました。環境問題から人種差別まで、広く現代社会が抱えた歪みを是正することを目指すSDGs運動の広がりも、そうした動きを総称するものです。コロナ禍での躓きは、すなわち新しい経済・社会システムへの対応の遅れが顕になったものにほかなりません。現代経営学演習では、このような普段は考えない大きな視点で、新しい日本の経済・社会システムの実現を目指す修士論文を作成していただきたいと思っています。

さて、具体的には、現代経営学演習では修士論文の作成のための指導を、いくつかの段階に分けて進めていきます。第一回では、大きな時代の問題意識を共有しつつ、皆さんが関心を持つ研究テーマを頭出ししていただきます。第二回では、学術論文のスタイルを学び、学術大会で利用されるテンプレートを利用して、じっさいに短編論文を作成していただき、全員で修士論文作成までに解決すべき技術的課題を共有します。第三回では、先行研究の批判的なレビューを行い、皆さんが研究を進めるうえで依拠するもっとも重要なコア論文を見定める一方で、残された課題を明確化します。第四回では、修士論文のメインコンテンツとなる経験的研究のデザインを行います。社会科学の様々な分析方法論を参照しながら、自分の研究テーマにふさわしいツールを選択します。以上が、2021年度の到達目標です。

2. 2021年度授業計画

・第一回：9月18日 1-5限 問題意識の共有と自己紹介（3-5限はM2修論報告会）

当日配布する研究作成マニュアルを中心とした簡単なオリエンテーション（30分）のあと、大きな時代の問題意識を共有しつつ、自己紹介を兼ねて皆さんが関心を持つ研究テーマについて頭出ししていただきます。時代の問題意識を共有するために、課題図書を指定しています。ベストセラーになった話題の図

書なので、すでに読んだことがある人がいるかも知れませんが、その中から特に
関心を持ったポイントに関連させた研究テーマを考えてみてください。ただし、
著者の考え方に完全に同意した研究テーマしか考えてはいけないということでは
ありません。著者とは異なった論点を見出したり、場合によっては批判してい
ただいても結構です。そのためのたたき台になるのが、課題図書なのです。報告
資料は特に用意して頂く必要はありませんが、ご用意頂く場合にはスライド資
料ではなく、A4 一枚以内に文章でまとめたメモをご用意ください。午後に M2
修論報告会がありますので、報告時間はひとり 5 分、書式は自由です。

課題図書

斎藤幸平 (2020) 『人新世の「資本論」』 集英社新書。

より関心がある方は、以下もご参照ください。

・ポスト資本主義に関する大きな視座を学びたい方

Giddens, A. (1998) *The Third Way: The Renewal of Social Democracy, Polity* (佐和隆
光 訳 (1998) 『第三の道：効率と公正の新たな同盟』日本経済新聞社)。

マルクス・ガブリエル, マイケル・ハート, ポール・メイソン, 斎藤幸平 編 (2019)
『資本主義の終わりか、人新世の哲学? : 未来への大分岐』集英社。

・人新世の基礎文献から学びたい方

Bonneuil, C. and Fressoz, J. (2013) *L'Événement Anthropocène : La Terre, L'histoire et
Nous* (野坂しおり 訳 (2018) 『人新世とは何か』青土社)。

Klein, N. (2015) *This changes everything: Capitalism vs. the climate*, Simon and Schuster
(幾島幸子・荒井雅子 訳 (2017) 『これがすべてを変える : 資本主義 vs. 気候
変動 上下』岩波書店)。

Latour, B. (2017) *Où atterrir ? Comment s'orienter en politique*, Paperback (川村
久美子 訳 (2019) 『地球に降り立つ: 新気候体制を生き抜くための政治』新評論)。

篠原雅武 (2020) 『人新世の哲学: 思弁的实在論以後の「人間の条件」』人文書院。

・人新世に関する論争から理解を深めたい方

『現代思想 (特集=人新世)』2017年12月号, 青土社。

ラトゥール、ハラウェイ、マルム&ホアンボー論文、奥野克己論文、飯田麻
結・北野圭介・依田富子の鼎談

『現代思想 (特集=現代思想の総展望 2020)』2020年1月号。

ポスト資本主義と人新世 / 篠原雅武と斎藤幸平の対談

『世界 (特集1: 人新世とグローバル・コモンズ・特集2: 貧困と格差の緊急事
態)』2021年5月号, 岩波書店。

『中央公論 (特集: コロナ下で進む 環境革命の虚実)』2021年3月号, 中央公論
新社。

・第二回：10月23日 1-5限 学術論文のスタイルを学ぶ

学術論文のスタイルに基づいて、学術論文としては最も短い4ページの短編論文(学術大会での報告予稿論文)を作成します。タイトル、アブストラクト(英文)、形式上にミスがない参考文献リストを整備してみます。本文も、徹底したパラグラフ・ライティングのもと、IMRaDの形式に基づいた節校正を、ボリュームのバランス良くまとめてください。おそらく、上記のリクエストが理解できない方も多くいらっしゃると思いますが、学術論文を書く上で基本的な考え方をマスターするために、まずは短編論文からトライアルしていただこうと思います。たった4ページですが、いかに論文の型を抑えて書くことが難しいか、いかに全体の建付けを考えることが当たり前ではないか、いかに論理的な日本語を書くことが難しいかを痛感することになるでしょう。

また、このトライアルを通じて、みなさんが修士論文で取り組む研究テーマを絞り込んでいきたいと思います。この段階では、まだ文献サーベイも終わっていないと思いますし、経験的研究についてはまだ着手していない状態になりますので決して完成度を求めているわけではありませんが、それでも学術論文の形式で全体を配置することによって、どのような課題があるのかを棚卸しすることを目的とします。

なお、学術論文のスタイルは、第一回目に配布した論文作成マニュアルを参考にしつつ、日本情報経営学会誌の論文投稿規定を基準として作成してください。学術論文の形式に関する書籍は、市中にたくさん出回っておりますので、必要があれば各自お好みのものを参照していただいても構いませんが、演習では、ひとまず古典的でスタンダードな形式に基づいて投稿規定が作られている学会の一つである日本情報経営学会のスタイルを参考にさせていただきます。

また、スタイルなどの技術的な問題以前に、どのように文献や資料を探るか、なぜ引用が必要であるのかなど、学術論文の前提となる基本の考え方については、神戸大学附属図書館のセルフラーニングをご参考ください(<https://lib.kobe-u.ac.jp/kulip/top/manual/#reference>)。しかし、実は最も重要なことは、文献の探し方でも形式を学ぶことでもなく、スタイルに基づいて学術論文をまとめる意義やその際の心構えなのです。授業の際にも折に触れてお話することになると思いますが、以下の課題図書を読んでおくようにしてください。新旧合わせて優れた図書で、文体もまるで異なりますが、エッセンスは共通しております。報告の際には、課題図書のなかでどのような考え方が心に響いたかについても教えて下さい。

課題図書

- 戸田山和久(2012)『新板 論文の教室：レポートから卒論まで』NHK出版。
清水幾太郎(1959)『論文の書き方』岩波書店。
梅棹忠夫(1969)『知的生産の技術』岩波書店。
伊丹敬之(2001)『創造的論文の書き方』有斐閣。

・第三回：1月29日 1-5限 先行研究を読み込み、コア論文を見つける

第三回目は、各自の研究テーマを深掘りするために必要となる、先行研究のレビューを公表してもらいます。先行研究のレビューは、基本的に、自分が選んだ研究テーマについて、すでにどこまで明らかになっていて、修士論文として何を明らかにしていけばよいのかを洗い出す作業として必要になります。それだけではありません。先行研究のレビューを通じて、どのような研究テーマがありうるのかについての気づきを得られることがあります。先行研究に批判的になることで、新たな着想を得られることもあります。筆者によって異なる書き方、鋭い論理展開や説明、真似できそうな分析方法など、先行研究のレビューから得られるヒントは山程あります。

課題図書としては、私も立ち上げに関わった東京都立大学ビジネス・スクールの教材をもとに研究書として仕上げたものを読んでもらいます。この図書が扱う理論は、制度派組織論というビジネス書ではほとんど知られていないものですが、制度変化のパラドクスなど普遍的な課題に取り組むオペレーション・システムのような存在であり、直接触れられることはなくともどこかで参照していたり、各種の経営理論を整理するときにも有用です。読みやすくない（もともと、そういうふうには書いていない）ものですが、理論的課題を除くほとんどがビジネス・スクールで扱った事例研究をもとにしておりますので、事例への関心から読み始めていただいても結構です。また、先行研究への批判、節構成にも現れている論理展開、パラグラフごとの主題や相互のつながりを意識したパラグラフ・ライティングなど、学術論文を書くテクニックを盗んでください。

他方で、皆さんの研究テーマを深掘りするためには、それぞれの研究領域における先行研究のレビューが必要になります。研究テーマの焦点が絞られてしまえば、じつは代表的な研究レビューは一ヶ月もあれば十分に渉猟できると思います。研究テーマは共通していますので、主張の違いに注目するだけなら読み込みにも時間はかかりません。第三回目には、皆さんそれぞれの研究テーマの文献レビューを終え、自分が修士論文を作成するにあたってもっとも依拠できるコア論文を定め、演習で「先行研究レビューを通じてわかったこれまでの議論の流れ」と「コア論文の内容と自分がそれをどのように利用して修士論文を作成するか」についてレクチャーしてください。報告 10 分、質疑応答 10 分、報告形式は、第二回で利用した短編論文の雛形を使い、4 ページ以上で、節構成やパラグラフ構成に気を配りながらまとめてください。このタイミングでコア論文が定まらなかったり、選択したコア論文が不適切であったり、さらに、より良いコア論文が見つかった場合は、第四回にもう一度報告していただくことができます。

課題図書

桑田耕太郎・松嶋登・高橋勅徳 編 (2015)『制度的企業家』ナカニシヤ出版。

・第四回：3月5日 1-5限 経験的研究をデザインする

第四回目は、経験的研究をデザインします。

まず、第三回の報告で不十分であった点をフォローしていただきます。先行研究の位置づけによって、必要な経験的研究が決まってきます。換言すれば、経験

的研究が変われば、先行研究のレビューについても大幅、あるいはまるごと変わることもありえます。この段階では、レビューをまるごと捨てて、ゼロベースで考え直すことも厭わないでください。第三回と同じように、4 ページ以上の先行研究レビューをご用意ください。

先行研究レビューをまとめた上で、経験的研究のデザインを行います。社会科学における経験的研究は、量的研究と質的研究という二種類に分けられるものではなく、じつは極めて多様なものが存在します。特に質的研究には、研究テーマに応じて利用可能なツールがたくさん存在します。課題図書は、現在の質的研究のなかで学術研究の手法として確立されたツールがまとめられたハンドブックです。ハンドブックの中から、皆さんの研究テーマにあったツールを選択し、経験的研究をデザインしてみてください。報告 10 分、質疑応答 10 分、報告形式は自由です。

課題図書

Denzin, N. K. and Lincoln, Y. S. eds (2000) *The Handbook of Qualitative Research Second Edition*, Sage Publications (平山満義監訳 (2006) 『質的研究ハンドブック 1 巻、2 巻、3 巻』北大路書房)。

3. 2022 年度計画 (未定)

第五回以降は、これまで 4 ページ程度でまとめてきた短編論文をブラシアップしつつ、経験的研究のエッセンスをまとめたフルペーパー (学術雑誌に投稿する 2 万字程度の大きさの学術論文) を作成していきます。このフルペーパーが、皆さんの修士論文の縮図になります。また、副指導教員には、雑誌論文を事前にお送りして指導を受けていただきます。論文執筆作業には膨大な時間がかかりますので、スケジュールを前倒しにして、日頃から論文形式でまとめていくことを強くお勧めします。

以上。